

1. 件名：福島第一原子力発電所 2 号機における燃料デブリの試験的取り出しの今後の進め方に係る面談

2. 日時：令和 5 年 11 月 13 日（月）13:30～15:00

3. 場所：原子力規制庁 6 階会議室

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

岩永室長、正岡企画調査官、佐藤室長補佐、森審査班長、石井安全審査官、  
山下安全審査専門職、椎名係長

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室 担当 2 名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力発電所 担当 8 名（うち 6 名テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、2 号機 PCV 内部調査・試験的取り出しに関するテレスコ式試験的取り出し装置について、資料に基づき説明があった。

○原子力規制庁は説明を受けた内容について確認するとともに、主に以下のコメント等を伝えた。

➤ 実施計画変更認可の申請時に、当該設備の詳細な設計を示すとともに、閉じ込め機能の維持や作業員の被ばく対策などに関する規制要求への適合性について説明すること。

○東京電力より、上記コメントについて了解した旨の回答があった。また、準備が整い次第、本件に係る変更認可を申請する旨発言があった。

6. 資料

➤ 2 号機 PCV 内部調査・試験的取り出し テレスコ式試験的取り出し装置について

以上